



3年ぶり再開の鬼会で災厄払い

国指定文化財の東光寺の田遊び・鬼会

議会報告「市民との意見交換会」を開催（P9）

- 12月定例会
- ・議案審議レポート（P3～7）
- ・議決結果（P8）
- ・一般質問（P10～15）

令和4年

12

月定例会ハイライト

第298回

令和4年12月定例会は、11月29日に招集され12月22日までの24日間の会期で開催しました。定例会の初日には17議案が上程され、諮問1件を原案どおり適任と答申、人事案件1件を原案どおり同意しました。

8日には議案に対する質疑を各会派の代表6名が行いました。なお、議案第67号職員の定年等に関する条例の一部を改正する条例の制定については、4名の議員から通告があり集中審議を行いました。続いて、9日までの2日間にわたり、11名の議員が市政全般にわたっての一般質問を行いました。

13日からは常任委員会が開かれ、付託された議案の審議を行いました。

最終日には15議案を原案どおり可決するとともに、同日提出された問責決議案1件を可決し、閉会しました。

審議の様子は、インターネット中継や会議録検索システム（2月下旬掲載予定）にてご覧いただくことができます。

～ 議会のデジタル化 ～

令和4年12月定例会より、本会議や委員会へのタブレット端末等の情報通信機器の持ち込みを許可し、議員、執行者ともに情報端末機器の使用を開始しました。まだ始まったばかりですので、今後しばらくは紙の書類との併用となりますが、まずはペーパーレスの推進に努めていきます。

今後は、タブレット端末を使用してオンライン会議も開催できるように会議規則を改正し、議会もデジタル化に向けて取組を進めていきます。



議案審議レポート

※ 議案は、本会議での質疑の後、所管の常任委員会に付託して慎重に審議しました。
主な議案と審議の経過について紹介します。

令和5年4月1日施行 の個人情報保護法の 改正に対応

議案第65号 加西市個人情報の保護に関する法律施行条例の制定について
議案第66号 加西市行政不服審査会条例の一部を改正する条例の制定について

概要 国、民間及び地方公共団体等にそれぞれ分かれていた個人情報に関する規律が、令和5年4月1日から個人情報の保護に関する法律に統合され、全国的な共通ルールとなるため、現行の加西市個人情報保護条例を廃止し、法の施行に関し必要な事項を定める条例を新たに制定するもの。

また、この条例の施行に伴い、個人情報保護制度及び情報公開制度に係る審査請求等全ての審査請求を加西市行政不服審査会で調査審議するため、加西市行政不服審査会条例を改正するもの。

質疑

問 個人情報開示請求の状況は。

答 令和3年度の開示請求25件のうち21件は加西病院へのカルテ開示請求です。他に住民票や印鑑証明等の第三者請求の有無などの開示請求がありました。

問 開示請求に係る手数料300円の根拠は。

答 加西市では公共料金問題審議会で各種証明書の必要経費を計算して料金設定をしており、開示請求に関する手数料も市民に対する文書として同じ単価にしています。

問 行政不服審査会等の審査会の開催状況は。

答 行政不服審査会及び個人情報保護審査会は請求がないため、今まで開催実績はなく、情報公開審査会は平成27年度以降開催していません。

討論

なし

議決結果

全会一致で原案可決



加西市職員の定年年齢 を60歳から65歳へ 段階的に引上げ

議案第67号 職員の定年等に関する条例の一部を改正する条例の制定について
議案第68号 地方公務員法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例の制定について

概要 国家公務員の定年年齢の引上げ及び地方公務員法の一部を改正する法律の施行（令和5年4月1日）に伴い、市職員についても同様の措置を講ずるとともに、措置に対応するために関係条例を改正するもの。

- 定年年齢の段階的な引上げ（65歳まで）
- 管理監督職勤務上限年齢制（役職定年制）の導入
- 定年前再任用短時間勤務制度の導入及び暫定再任用の特例
- 当分の間、4月1日以降の給料月額を、4月1日前の給料月額の7割水準とする。 など

質疑

問 役職定年制の導入による管理監督職以外の職への降任について。

答 管理監督職など意思決定に携わる役職や部下を指揮命令する立場には配置できないことになってい

ますので、非管理職である課長補佐級や係長級として任用し、長年の知識や経験を生かして勤務していただく予定です。

問 定年延長により、若年者や会計年度職員の新規採用及び年齢構成等のバランスはどうなるのか。

答 一定数の人員を確保する観点から新規採用は継続して行い、職員の年齢バランス等の維持に努めていきます。会計年度職員の採用は行政サービスの多様性に応じた短時間の勤務形態もあり、その時々業務に応じてしっかりと人員を確保したいと考えます。

討論

なし

議決結果

全会一致で原案可決



事務処理ミスにより 市長の給料を10分の1減額

概要 令和3年度地方創生推進交付金事業の実績報告の誤りに対する管理責任として、令和5年1月の1か月間、市長の給料月額を10分の1減額するもの。

質 疑

問 実績報告の誤りにより、令和3年度の交付金6,000万円を受け入れるべきところ1,200万円の受入れとなった。不足額4,800万円は過年度分として国から追加交付されたとはいえ、もし追加交付の決定がなければ、この穴埋め分は決算にも補正予算にも数字が出てこない。なぜミスが発覚した時点で公表されなかったのか。

答 仮に追加交付がなければ4,800万円の欠損が生じることとなり、その処理が確定した時点で報告する予定でした。公表については、4,800万円の欠損という大きな事案ですので、結論を得て対応がはっきり決められる状況になってから公表すべきと判断しました。

問 実績報告の誤りに対する、今後のミス防止に向けた組織的な取組は。

答 書類作成者以外の第三者によるチェック体制の構築、実績報告書類に加えて関連書類や交付申請書

議案第71号 特別職に属する常勤の職員の給与の特例に関する条例の制定について

の添付、一定額以上の交付金や補助金の場合は財政課がチェックするように改め、二重三重のチェック体制を構築してミスを防止していきます。

討 論

賛成

・見える形で責任を取ることは必要で、組織としての怠慢やシステムの欠陥を認識して市長が報酬を減額し、組織を代表して責任を取ることも必要である。今後、組織として改善を徹底させるよう要望する。(本会議)

反対

・市長の反省の態度は全く見えないし、副市長は全く責任がないのか。1割カット1か月の減給で責任を取ったことにならない。直ちに市長の職を辞するべきだ。(本会議)

議決結果

賛成11、反対3の賛成多数で原案可決

コンビニで各種証明書の 取得が可能に！

概要 市役所等に設置している自動交付機だけでなく、コンビニエンスストア等に設置してある多機能端末機(マルチコピー機)から住民票の写し、印鑑登録証明書等の各種証明書を取得できるサービスが開始される。(令和5年3月予定)

- 多機能端末機から取得できる証明書
 - ・住民票の写し、印鑑登録証明書
 - ・所得・課税証明書、納税証明書
- 多機能端末機を利用した交付手数料：250円/件

質 疑

問 市の窓口で発行された証明書とコンビニ交付の証明書では、用紙に違いはあるのか。

答 市の窓口と自動交付機では改ざん防止用紙を使用しています。コンビニでは普通紙を使用して発行するため、用紙は異なりますが、証明書には改ざん防止処理が施されています。



議案第72号 加西市印鑑条例の一部を改正する条例の制定について

問 マイナンバーカードと市民カードの使用について。

答 コンビニ交付はマイナンバーカードのみで、市民カードは使用できません。市の自動交付機では、市民カードと印鑑登録証機能付マイナンバーカードの2種類が使用できます。3月の運用開始に向けて、広報やホームページ等で、コンビニでの証明書の取得方法等も含めて周知を図り、市民の利便性向上に努めます。

討 論

なし

議決結果

全会一致で原案可決



姫路市に開校予定の 夜間中学への入学が可能に

概要 加西市と姫路市との間で締結した連携中枢都市圏形成に係る連携協約について、令和5年4月開校予定の公立夜間中学「姫路市立あかつき中学校」の入学対象者を居住地の制限なく広域で受け入れるため、連携協約を変更するもの。

質 疑

問 入学対象者は。

答 何らかの理由で義務教育を受けられなかった方など、年齢は15歳以上で上限はなく、年配の方や外国人の方も対象となります。

問 加西市の財政負担は。

答 生徒一人当たりの負担金は、学校運営費や用務員の人件費、給食費など年間15万円程度です。加

議案第74号 姫路市及び加西市における連携中枢都市圏形成に係る連携協約の一部変更について

討 論

賛成

・義務教育を修了していない方が全国で90万人近くに上るという調査もあり、新たな夜間中学の開校は社会問題解決の一助となることは間違いない。今後、入学希望者が出てくることも考えられるため、夜間中学のPRに努めていただきたい。（本会議）

議決結果

全会一致で
原案可決



物価高騰に伴う子育て世帯 支援事業などを実施

質 疑

公共施設の電気代 3,952万1,000円の増

問 4,000万円近くの公共施設の電気代の増額について。

答 令和3年10月から加西市は新電力事業者（ミツウロコエネルギー）と契約していますが、日本卸電力取引所の価格高騰により電気代が上昇しています。

問 新電力と通常の関西電力との価格差は。

答 これまでは関西電力よりも安かったのですが、これから逆転して高くなってきます。

問 今後も価格が上昇する見通しだが。

答 11月に値上げしたいとの話があり、補正予算可決後の令和5年1月以降に協議し、改定する予定です。

物価高騰に伴う子育て世帯支援事業 4,058万1,000円の増

問 事業の内容は。

答 急激な物価高騰の今、入学準備品購入のため一時的に大きな出費をすることになる家庭の負担



議案第75号 令和4年度加西市一般会計補正予算（第7号）について

軽減のため、新小学1年生は一人当たり2万5,000円、新中学1年生は3万5,000円、新高校1年生は4万5,000円を支給します。また、市外の小中学校に通学する児童生徒の家庭に対し、1月から3月の給食費相当分として小学生1万7,400円、中学生1万9,200円を支給します。「ねっぴ〜Pay」によるポイント給付を予定しています。

問 「ねっぴ〜Pay」のアプリを使用しない方やスマートフォンを持たない方への給付方法について。

答 アプリのダウンロード方法を案内するなど、基本的には「ねっぴ〜Pay」で給付したいと考えます。スマートフォンを持たない家庭については、現金給付を含め別途対応します。

電力・ガス・食料品等価格高騰緊急支援給付金 6,500万円の増

問 給付金の内容について。

答 令和4年9月30日において世帯全員が住民税の均等割のみ課税の世帯、及び令和4年中に家計が急変し、均等割のみ課税世帯と同様の事情があると認められた世帯を対象に、1世帯当たり5万円を支給します。1,300世帯を想定しています。

地域通貨運用委託料

6,000 万円の増

問 「ねっぴ〜 Pay」のキャンペーン第3弾が実施されるとのことだが、内容は。



答 第1弾、第2弾と同じく決済額に応じた還元キャンペーンを想定しています。1月は0と5のつく日に最大10%の還元、2月の還元率は決定していませんが、同じく決済額に応じた還元を行います。

農地集積協力金

821 万 6,000 円の増

問 農地集積協力金の増額内容について。

答 農地集積協力金は、実質化した人・農地プランの策定地域において、まとまった農地を農地中間管理機構に貸し付け、担い手への農地集積を図る場合に、対象地域の農地面積における機構の活用率に応じて国から交付されます。活用対象の拡大に対して1,201 万 6,000 円が交付されることになり、当初予算380 万円との差額821 万 6,000 円を増額補正します。

脱炭素先行地域づくり事業の委託

500 万円の増

問 委託の内容について。

答 脱炭素先行地域に提案した市役所を中心とした四つの公共施設と九会北部地区との二つのエリアで供給側と受給側、双方の電力の流れをコントロールできる送電線で結ぶスマートグリッド事業、及び市の公共施設への太陽光発電設備や蓄電池を導入する事業所の選定のため、詳細な実施設計の作成が主な内容です。

問 事業費総額と財源は。

答 現時点で、事業費は総額約45 億円です。交付金27 億円、事業者の負担10 億円、市の負担8 億円と見込んでいます。



道路新設改良

500 万円の組替え

問 道路新設改良の予算組替えの内容について。

答 市道鶉野飛行場線と県道三木穴栗線の接続部分の拡幅工事に際し、電柱の移設補償費が当初見込額を上回ったため、工事費を補償費に組み替えるものです。



県道三木穴栗線と鶉野飛行場線の接続部分の工事の様子。
(令和5年1月16日撮影)

特別支援学校のスクールバス

50 万円の増

問 委託料50 万円と債務負担行為1,400 万円となっているが。

答 スクールバスに添乗する介助員2名を令和5年4月から民間委託しますが、1か月前倒しして3月から委託することになりました。

また、令和4年9月議会で現在のスクールバスに乗車できない生徒が発生しているとの指摘を受け、小型バスの運行委託料やリース代など、令和5年4月からの運行に向けて契約等の準備を始めるものです。



学校給食の材料費

1,500 万円の増

問 1,500 万円もの増額理由は。

答 材料の値上がりと加西市産野菜を積極的に使うようになったためです。調味料も年契約から月契約に見直しているため、値上がりしています。令和3年は1食当たり平均250 円だったものが、令和4年では270 円になっています。

問 価格はこれからも上がり続ける。コストを抑える工夫や見直しもしないと。



答 当面は給食の質を維持していくつもりですが、公費で材料を購入しているので、費用を度外視することはありません。



討 論

賛成

・市役所などの公共施設の電気代の増、学校園の給食材料費の増だけでも約6,000 万円もの増となっており、市民の血税を充てる以上、工夫して費用を抑えることも必要だ。また、デジタル商品券「ねっぴ〜 Pay」に一気に移行するのではなく、公平性の観点からも紙の商品券も取扱いすべきではないか。(本会議)

議決結果

全会一致で原案可決

妊娠期及び出産期に 各 5 万円を支給

議案第 79 号 令和 4 年度加西市一般会計補
正予算（第 8 号）について

概要 国において、妊婦・子育て家庭への伴走型相談支援と経済的支援を一体的に実施する「出産・子育て応援交付金」が創設されたことに伴い、市において事業を実施していく。

質 疑

問 出産・子育て応援交付金の内容と相談支援体制について。

答 交付金は、妊娠届出時と出産後にそれぞれ 5 万円を支給する国の事業です。市の独自事業として令和 4 年 4 月以降に出生された方に 5 万円を支給する出産祝い金や、令和 4 年 10 月に開始したすくすく子育て定期便などと合わせて切れ目のない支援を継続していきたいと考えます。

問 交付金の対象と手続について。

答 令和 4 年 4 月 1 日以降に出生した子供がいる家庭が対象で、既に出産された方については、妊娠期の支給分も含めて 10 万円を支給します。

妊娠届出時として母子手帳交付の際の面接相談において手続を行います。また、出生届出後として、2 か月児健診の案内に申請書を同封して郵送し、健診の際の面接相談において手続を行います。国からの指示があり次第準備していきます。

問 給付の方法は。

答 妊娠中や出産後は心身への負担もあり、出産準備、育児用品の購入のための外出が負担となる方もあるため、ネット通販等の活用にも配慮し、口座振込による現金支給を予定しています。



討 論

なし

議決結果

全会一致で原案可決



決議案を可決しました

12 月定例会では決議案 1 件が提出され、審議の結果、全会一致で可決しました。

決議案第 2 号 高見博道議員に対する問責決議について

抜粋 今回、議会事務局管理の USB メモリーを高見博道議員が自宅に持ち帰り 18 日間にわたって返却を怠っていたことは、故意ではなくとも許されるものではない。現に令和元年に個人情報の入った USB メモリーを市職員が紛失した際は、厳しく執行者の管理体制を問いただした経緯もあり、議会においてあってはならない事案である。

よって、高見博道議員に対し、強い意志を持ってその責任を問うものであり、この問責決議を重く受け止め反省を促すものである。

※ 議会では今後、議員への USB メモリーの貸出しを行わないこととし、USB メモリーの使用に当たっては記録簿に使用状況等を記入して、管理体制の徹底に努めます。

第 299 回令和 4 年 12 月臨時会が 12 月 28 日に開かれました

令和 4 年 12 月 22 日をもって河尻副市長が辞職されたことに伴い、12 月 29 日より新たに前田晃氏を副市長に選任することに同意を求める議案が上程、審議され、賛成多数により原案どおり同意しました。

第 298 回 令和 4 年 12 月定例会 議決結果一覧

賛否の分かれた議案

○…賛成 ×…反対

議 案	北川克則	高見博道	下江一将	佐伯欣子	深田照明	衣笠利則	井上芳弘	中右憲利	黒田秀一	丸岡弘満	深田真史	森元清蔵	原田久夫	森田博美	土本昌幸	議決結果
議案第 71 号 特別職に属する常勤の職員の給与の特例に関する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	議長	○	○	原案可決 (賛 11、反 3)

全会一致で適任と答申、同意、可決した議案

- 諮問第 11 号 人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求めることについて
- 議案第 64 号 教育委員会委員の任命につき同意を求めることについて
- 議案第 65 号 加西市個人情報の保護に関する法律施行条例の制定について
- 議案第 66 号 加西市行政不服審査会条例の一部を改正する条例の制定について
- 議案第 67 号 職員の定年等に関する条例の一部を改正する条例の制定について
- 議案第 68 号 地方公務員法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例の制定について
- 議案第 69 号 一般職の職員の給与に関する条例及び加西市一般職の任期付職員の採用等に関する条例の一部を改正する条例の制定について
- 議案第 70 号 特別職に属する常勤の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について
- 議案第 72 号 加西市印鑑条例の一部を改正する条例の制定について
- 議案第 73 号 加西市議会議員及び加西市長の選挙における選挙運動用自動車の使用及び選挙運動用ポスターの作成の公営に関する条例及び加西市議会議員及び加西市長の選挙における選挙運動用ビラの作成の公営に関する条例の一部を改正する条例の制定について
- 議案第 74 号 姫路市及び加西市における連携中枢都市圏形成に係る連携協約の一部変更について
- 議案第 75 号 令和 4 年度加西市一般会計補正予算（第 7 号）について
- 議案第 76 号 令和 4 年度加西市国民健康保険特別会計補正予算（第 2 号）について
- 議案第 77 号 令和 4 年度加西市介護保険特別会計補正予算（第 2 号）について
- 議案第 78 号 令和 4 年度加西市後期高齢者医療特別会計補正予算（第 1 号）について
- 議案第 79 号 令和 4 年度加西市一般会計補正予算（第 8 号）について
- 決議案第 2 号 高見博道議員に対する問責決議について

第 299 回 令和 4 年 12 月臨時会 議決結果

○…賛成 ×…反対

議 案	北川克則	高見博道	下江一将	佐伯欣子	深田照明	衣笠利則	井上芳弘	中右憲利	黒田秀一	丸岡弘満	深田真史	森元清蔵	原田久夫	森田博美	土本昌幸	議決結果
議案第 80 号 副市長の選任につき同意を求めることについて	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	議長	○	○	原案同意 (賛 11、反 3)

議会報告「市民との意見交換会」

加西市議会では、議会基本条例に基づいて「市民との意見交換会」を実施し、お聞きした意見、要望は市政に反映するよう努めています。

令和2年度、3年度は新型コロナウイルス感染症拡大のため開催を見合わせていましたが、令和4年度は、11月7日にNPO法人災害ボランティア加西らん、11月8日には加西商工会議所商工業活性化事業検討委員会と議会報告並びに意見交換会を行いました。そこで述べられたご意見の一部を紹介します。

令和4年11月7日

NPO 法人 災害ボランティア 加西らん



北播磨唯一の災害ボランティアNPO。2014年丹波市豪雨災害を機に、地元発災時のボランティアセンター機能を担うべく結成。災害被災地の継続支援と地元での防災訓練や防災人材育成、地域づくりを目的に活動されています。

『テーマ：災害時の対応、支援について』

議会への質問

- 近く重大災害は起きるかもしれないと思われませんか。それはどこでどんな災害でしょうか。
- 最近では雨の量が多い。線状降水帯が続けば被害が発生するかもしれない。
- 南海トラフ地震が心配。山崎断層への影響があるかもしれない。

→地震によるため池決壊も危惧される。

- 地元の自治会で防災訓練は行われていますか。それに参加したことはありますか。また市主催の総合防災訓練は必要と思われませんか。

- 消防訓練は行っているが、防災・避難訓練はしていない。実践として各地域で取り組む必要がある。
- 福祉と連携した訓練は重要と考えるが、個人情報保護のため情報が共有できず、要援護者が分からない。
- 地域全体として警察・自衛隊との連携訓練は必要。

- 地域防災を推進するために最も必要なものは何であると思われませんか。

- 地域コミュニティの活性化が防災にもつながる。地域の中のさまざまな方々の情報共有と参加は防災訓練がよい機会となり、加西市の地域づくりにもなる。

要望・提言

- 加西市の防災体制の整備と予算確保
- 町単位の防災訓練及び市主催の総合防災訓練の実施

令和4年11月8日

加西商工会議所 商工業活性化事業 検討委員会



加西商工会議所に設置されている委員会の一つで、加西市の商工業の発展について協議されています。どうすれば市内の商店活動が活発になるのか、「ねっぴ〜商品券」や「ねっぴ〜pay」の効率的な運用、大型商業施設の開設に対する対応などについて検討されています。

『テーマ：コロナ禍における商工業施策について』

議会から質問

- コロナ禍における現状はいかがでしょうか。
- コロナの影響が長引いているが食に関しては回復している。
- 「ねっぴ〜Pay」や「ねっぴ〜商品券」、兵庫県のお買い物シール事業は、大きな経済効果があった。とりわ

け加西市の商業者支援は大きい。

- キャッシュレス決済の現状はどうですか。
- 手数料が発生するので導入しない店舗や、登録時のセキュリティやパスワードの難しさもあり、購買力の高いシニア世代がデジタル化に追いついていない現状がある。
- デジタル通貨へ移行しているが、紙の商品券も併用して残して欲しい。
- 「ねっぴ〜Pay」を継続して利用してもらうように、低い還元率でも長期のキャンペーンを実施しては。

要望・提言

- デジタル通貨を使えば便利になるという夢・未来構想を示して欲しい。
- 「ねっぴ〜Pay」で外貨獲得（市外客）ができるような工夫も。
- 公共交通の規制緩和やITなどを活用して、お買い物難民の問題を解決して欲しい。

閉会中の委員会開催報告

総務常任委員会

令和4年11月2日（水）に、9月定例会の予算決算常任委員会総務分科会において質問があったプロポーザル契約について、委員会から提出を要求していた資料を中心に審議を行いました。
質問と答弁の主な内容を紹介します。

質疑

問 P社については、兵庫県や他の自治体で指名停止している。加西市の指名停止基準の「近畿外の一般工事等に関し、競売入札妨害又は談合の容疑により逮捕、書類送検又は起訴されたとき」の項目に該当するのではないのか。

答 今回の件はその基準に該当しますが、市の指名停止の取扱い、市内業者の事件事故、加西市と契約関係にある業者の事件事故を指名停止しています。P社は加西市と契約関係になかったため指名停止は必要ないと判断しました。

問 本来、指名停止基準に従って、P社を指名停止すべきだったのでは。

答 （副市長）これは運用の範囲であり違法ではありません。しかし、周辺自治体の指名停止を確認すると、指名停止するほうが妥当だったと思います。結果として不適切な部分があり、反省点もあります。

問 令和4年2月24日、P社社員が官製談合の疑いで社員が逮捕されたことを報告する文書を持参している。これだけ重大な文書を課長で止めておくものなのか。上司に報告すべきではないのか。

答 加西市と契約があれば部長等に文書を回しますが、契約がなかったため指名停止する必要がないとの判断をしました。

問 令和4年10月から指名停止の業者を市ホームページで公表しているが、それは指名停止基準に従って指名停止しているのか。

答 今回の件を受けて、指名停止の運用を見直したものです。

問 過去に指名停止にすべき業者が参加していたケースがあるのではないのか。遡って調査を。

答 （市長）チェックさせます。

市政を問う！

一般質問

12月8日、9日の本会議では、11名の議員が市政全般に関する一般質問を行いました。質問と答弁の主な内容を紹介します。（発言順に掲載）
※ QRコードを読み取ると、録画映像をご覧くださいことができます。

加西市消防団及び防災について



中右 憲利 議員
（令和新風加西）



問 コロナ前まで長年続けてきた消防団の操法・礼式大会の廃止について。

答 消防団の活動内容の改善に向けたアンケートでは、操法・礼式大会が負担との回答が80%を超え、消火技術やポンプ操作の知識不足が28%、団員が集まらず現場活動ができないとの回答が43%でした。この結果を受けて3回の分団長会議で慎重に協議し、操法・礼式大会を廃止することを全員一致で決定しました。

問 操法・礼式大会に代わる実践的な訓練について。

答 4月の第2日曜に新入団員訓練、機関員訓練、水防訓練、部長訓練を約2時間かけて一緒に実施していましたが、今後は4月から6月にかけて個別に実施し、座学で基本を学んだ上で実技に十分時間を取ることにしています。

問 市主催の総合防災訓練の必要性について。

答 これまで小学校区単位の炊き出し訓練等を毎年1校区ずつ実施し、一巡した後に図上訓練も同様に実施しています。

令和4年9月に実施された兵庫県・播磨広域合同防災訓練では、行政・警察・自衛隊がそれぞれの特徴を生かした訓練が行われていました。加西市も総合防災訓練の必要性は認識しており、今後防災関連機関と協議し、できるだけ早期に取り組みたいと考えます。

問 災害ボランティア団体、市内在住の防災士等がネットワークを構築し、市と協働して防災環境を整えていくことについて。

答 NPO 法人災害ボランティア加西らんかに協力を依頼し、準備段階から当日まで密に連絡を取りながら、災害ボランティアセンター開所訓練を実施したことがあります。その中で連携の必要性を実感し、今後、連携強化を図りたいと考えています。また、兵庫県防災士会では学生部会を立ち上げ、幅広い年代に対応できるよう組織化を検討されており、加西市としても防災の新たな人脈づくりを進めたいと考えます。

■その他の質問項目

- ・ 道の駅について
- ・ ふるさと創造会議について
- ・ 未来型児童館について

九会地区の道路問題や獣害の解決に向けて



深田 照明 議員
(21政会・加西ともて育つ会)



問 県道高砂加古川加西線の桑原田町から繁昌町までの路肩拡幅工事の進捗は。

答 県の社会基盤整備プログラムでは、令和元年～5年に着手、6年～10年に完了の計画となっていますが、県全体の通学路整備など優先度もあり、具体的な時期は提示されていません。

問 道路舗装面のひび割れや陥没、通学路における白線の引き直しなど補修を急ぐ必要がある場合の対応は。

答 道路パトロールや市民からの連絡により現場を確認し、

緊急の対応が必要な場合は緊急保全整備を行っています。

問 令和4年11月、市道中野家塚線と鶉野飛行場線の交差点において交通事故が発生している。今後の安全対策は。

答 従前より警察と協議して安全管理に努めていましたが、事故を受けて一時停止や左右確認の注意看板、三角コーンの増設など追加の安全対策を行いました。国道372号線加西バイパス完成に併せて信号や右折レーンを設置するとの方針を警察から伺っていますが、交通量の増加も想定されるため、協議を継続して適切に対応していきます。

問 九会の南部地域でイノシシによる農作物被害が多く、捕獲期間を米の収穫期まで延長できないのかとの意見もある。猟友

会加西支部では今以上の対応が難しいと聞くと、市の対応策は。

答 市としても野生動物を適正な個体数に管理するには、狩猟活動や有害鳥獣捕獲が必要と考えます。そのため狩猟者の高齢化による減少への対応として、狩猟免許取得者を増やす取組を行いたいと考え、平成29年度から狩猟免許取得のための補助制度を設けています。猟友会加西支部への加入を要件として、免許取得初年度登録料の概ね2分の1を補助しています。平成29年度から令和3年度までに計30名が制度を利用して免許を取得し、猟友会加西支部に加入されています。

■その他の質問項目

- ・九会地区の小規模保育事業所設置について
- ・脱炭素先行地域指定について

学校給食から「魅力ある加西の教育・食農」へ



北川 克則 議員
(令和新風加西)



問 学校や給食センターにおける食育や地産推進の取組は。

答 各学校では、農産物の栽培、収穫体験などを通して、自然への感謝や食への理解を深めています。植付けから栽培、収穫、調理、レシピづくりを行うハリマ王にんにくや、地産芋のはりまるを用いた下里小学校三ツ星カレーの開発など、地域の様々な団体と連携して活動を進めています。

また、学校給食センターの4名の栄養教諭が各学校の食育活動の現場に出向き、栄養について指導

するとともに、児童・生徒の疑問に答えながら、食育や地産、調理の実践指導なども行っています。

地産地消として、愛菜館からの調達に加え、令和3年度に播磨農高と協定を結び、給食の食材を仕入れています。

問 給食の評判は。

答 令和4年7月に市内小中学生2,739名全員へ実施したアンケートでは、おいしいが全体の8割を超え、味つけもちょうどよいが88%でした。ただし、苦手なものや量が多いという理由で25%が残していると答えています。さらに、加西市でとれた食べ物が使われていることを知っているが53.9%とそれほど高くなく、チラシや献立表に表示しているものの、まだまだ浸透していないことが分かりました。

そのため、食材が市内のどこでとれたのか一目で分かる地図を教室に掲示しているところです。

問 アンケート結果を踏まえた今後の取組は。

答 現在、地元生産者など仕入先を開拓し、市内の農産物を入手しやすい環境整備に取り組んでいます。給食に必要な食材の量と出荷時期との調整など農家と連携を図るとともに、メニュー開発の工夫により地元食材の活用がさらに広がるよう、食育や地産地消を推進します。

意見 保護者や地域の方が給食を試食する機会を設けてほしい。

また、栄養教諭や調理師と専門家との学習研究やメニューの共同開発、玄米や発酵食品のメニュー開発にも取り組んでほしい。

夢が叶うまちの実現に向けて



下江 一将 議員
(21政会・加西ともて育つ会)



問 市長マニフェストにある「若者・女性がチャレンジ・活躍できるまちづくり」について、4年間の取組と成果について。

答 起業セミナーは令和3年度以降の開催がなく、若者チャレンジ事業助成制度は令和4年度の利用がない状況で、コロナの影響が続いています。若者ターミナルスポットはコロナ禍による利用件数の変動はあるものの活動は継続しており、利用の幅が広がっています。また、令和3年度から4年度にかけて女性リーダー養成講座、ウィメンズネット加西塾を開

催し、8名の方が修了しました。修了生が核となって男女共同参画グループを結成し、活動を開始しています。

これらの状況から、マニフェストの進捗状況としては着実に前進していると考えています。

問 市長マニフェストにある「Uターンによる起業、就業者の創出」について、4年間の取組と成果について。

答 令和元年度から4年度の4年間における起業は合計39件で、平成27年度から30年度の29件から10件増えています。

令和2年9月には起業創業スタートアップ支援事業補助金制度を創設し、令和2年度に1名、3年度に4名が起業しています。また、令和3年4月にはIT事業所コワーキングスペース開設支援事

業補助金制度を創設し、令和3年度に1名が起業しています。令和3年12月からはビジネスグランプリを開催するなど、市としても起業創業に力を注いでいます。

問 夢が叶うまちに向けて何が必要で何に取り組むことが求められるか。

答 (市長) 夢が叶うまち実現には財政基盤をしっかり確立し、維持していくことが重要です。そして、前に進めることができる組織が必要です。SDGs 未来都市、デジタル田園都市国家構想交付金、脱炭素先行地域の3つからも、市の組織が大きく前進していると考えています。そして、地域においても、新規居住者の受入れ等に取り組むことが市の発展に必要なことの認識に変わってきていると思います。

補聴器購入助成の実現を！



井上 芳弘 議員
(日本共産党)



問 補聴器の購入助成について、今この制度を導入する場合には、行政として課題があるとすればどこにあるのかお尋ねします。

答 令和4年6月議会の一般質問でお答えしたように、兵庫県では加齢に伴う難聴と社会活動の関連性を調査するため、県内在住の65歳以上の高齢者を対象に400人を募集し、アンケート調査を行っています。調査の結果については、公開がまだ先になると思われます。

それとは別に、現時点で県内で

は明石市、相生市、養父市、稲美町の4市町が助成制度を設けていることは確認しています。また、加西市シニアクラブ連合会からも助成制度の創設について要望を頂いています。

難聴になると人との会話や交流に支障を来し、家庭でも孤立しやすくコミュニケーション不足により生活の質を落とす原因となることは、これまでの支援の経験からも把握しています。一方、補聴器購入後の活用については利用者により差があり、十分に活用できていない高齢者がいらっしゃることも把握しています。

これらのことを踏まえ、加西市では、兵庫県の調査結果を待ちたいということ、また近隣市の動向についても注視する一方で市内高齢者の現状をしっかりと把握したいと考えています。加えて、補聴器購入後に必要なりハビリにかな

り時間を要することも確認しており、そのような受入先等もしっかりと把握し、内容を吟味した上で、制度の創設に向けては前向きに検討していきたいと考えます。

意見 すでに厚生労働省は、2020年に全国難聴高齢者の社会参加等に向けた適切な補聴器利用、その効果に関する研究として実態調査を行っています。また、シニアクラブからも要望が上がったとお聞きしましたので、ぜひ来年度の事業として進めていただきたい。

■その他の質問項目

- ・ふるさと納税について
- ・公募型プロポーザル方式について
- ・加古川西部土地改良事業について
- ・学校問題について

STEAM ラボを活用したがん教育の推進



土本 昌幸 議員
(公明党)



問 がん教育の現状についてお聞きします。学校におけるがん教育の推進は、新学習要領に明記され、中学では昨年度から全面実施されています。現状について答弁を求めます。

答 がん教育は、小学校では6年生の保健の授業で、教科書の内容を中心に生活習慣病との関連で、がんをまずは知るという学習をしています。中学校では2年生の保健科において、がんの予防という授業があり、がんという疾病について知り、がんの要因と予防、がんの早期発見と回復につ

いて学びます。

これらの学習を基にして中学3年生では、市の健康課の事業であるピロリ菌検査及び除菌治療を行っています。生徒自身はもとより学んだことを家庭で会話することによって、家族の皆さんも関心を持っていただく機会にもなっていると聞いています。

問 STEAM ラボの導入が始まるということですので、がん教育に対する活用が有効ではないかと考えます。全生徒にタブレットも貸与していますので、タブレットを利用して保護者と一緒に進めていくのが効果的ではないかと考えます。見解を求めます。

答 STEAM ラボを活用すれば他校の児童・生徒と共に多様な意見を交わしながら学習をしたり、医師に病院からオンラインでゲストティーチャーとして指導し

ていただくことができます。また、公民館にも STEAM ラボは設置されますので、地域人材や公民館活動との連携による学習を行った、より幅広く質の高い学びを提供することができるものと考えています。

要望 国はがん検診の受診率目標を50%から60%に引き上げることを検討されています。早期発見、早期治療が非常に効果がある取組であることから、子供を通して家族全体でがんについて学ぶことができるよう、がん教育を推進していただきたい。

■その他の質問項目

- ・ヤングケアラー対策について
- ・出産・子育て事業について
- ・運動部活動の地域移行・連携について
- ・情報管理について

希望あるまちづくりのために ～国道372号バイパス新設工事について～



佐伯 欣子 議員
(21政会・加西ともし育つ会)



問 工事計画について。

答 三口交差点を起点として善防交差点を経由し、西笠原の大池南東の農道を拡幅して東へ延び、北条鉄道を越えて、さらに下里川の橋を架け替えて拡幅し、県道玉野倉谷線と市道鷺野飛行場線の十字路へ接続する全長約1,700メートルの高規格道路です。

このバイパスの整備により、三口、善防及び法華口交差点の渋滞緩和、さらには加西中野交差点の渋滞緩和が見込まれます。また、市道鷺野飛行場線との接続による

sora かさいなど鷺野地区へのアクセス道路となり、県道三木粟粟線を交差して上宮木玉野線を越え、市道玉丘常吉線と交差して西へ曲がれば北条方面、東へ曲がれば工業団地を経由して現在の国道372号につなぐ主要幹線のネットワークが構築されます。

三口から善防交差点の拡幅区間は、右折、左折レーンの増設により道路幅員は約2倍になる予定で、主に南側への拡幅が計画されています。

問 工事の進捗状況について。

答 令和4年度は北条鉄道と下里川の橋梁の設計や境界確定の作業を行い、道路用地を確定する用地測量が予定されています。現在、関係する三口、西笠原、東笠原、上野田、東野田町の5町

で役員協議、住民説明会を順次開催し、地権者説明、交渉を行っていきます。

令和5年度は用地買収に入り、順調に進めば令和6年度から東側の県道玉野倉谷線の交差点から、工事着手が予定されています。

問 周辺地域の活性化について。

答 令和5年3月の改訂を目指す都市計画マスタープランでは、法華口駅周辺と国道沿道の集落を土地活用促進地域と位置づけ、住宅地や商業施設などを誘導し、法華口駅を交通拠点とする計画です。利便性向上により若い世代、子育て世代の移住先選択地域として、今後も地域と行政、民間事業者が協働し、良好で活気あるまちづくりを推進します。

幅広い農業者支援を！



衣笠 利則 議員
(21政会・加西ともて育つ会)



問 肥料価格高騰対策について。

答 海外原料に依存している化学肥料の低減や堆肥等の国内飼料の活用に取り組む農業者に対し、肥料コスト上昇分の約7割相当を国が支援し、農業経営に及ぼす影響を緩和するものです。

事業は兵庫県農業活性化協議会が実施し、農協等が取組実施者として農業者の申請を受け付けます。申請には作業計画や化学肥料2割低減実現のための取組が必要となっており、国は2030年までに化学肥料使用量の20%低減を目標としています。

問 安心・安全な食料の基本は農業であることを踏まえ、加西市の農業はどうあるべきか考えていくとともに、希望、夢を持つことができる農業にしていく必要がある。加西市としての考えは。

答 加西市における農業の課題は、農業従事者の高齢化による離農と後継者不足による農家数の減少です。

国において人・農地プランが法定化され、市としても地域の話合いによる農地の維持、担い手の農地集積化、担い手の発掘が図られるよう協力するとともに、中小規模農家の方も地域の担い手として活躍できるよう補助の仕組みを検討したいと考えます。また、集落営農組織協議会では、コスト削減と労働力の調整を行う集落営農の2階建て方式の勉強会が始まり、将来的には農作物の産地化を進め

ることで販売が有利になるのではと期待しています。

みどりの食料システム戦略における食の安全にも取り組み、オーガニック給食などの研究も開始したいと思います。今後二、三年で方向を見定め、加西市の農業政策を進めていきたいと考えます。

問 農業には農協の関わりが非常に大事だが、市の考えは。

答 農協は中小規模農家にとってなくてはならない存在で、また人・農地プランの作成に当たっても協力が必要となっています。今後とも連携を密にしながら十分話し合い、加西市の農業の将来に向けて取り組んでいきます。

■その他の質問項目

・県道372号線剣坂交差点の安全対策は

sora かさいと巨大防空壕シアターについて聞く！



黒田 秀一 議員
(自由民主党・無所属の会)



問 sora かさい駐車場から入り口までの動線について。

答 施設南側の正面には身障者用駐車場を設けていますが、団体を含め個人客は北側駐車場から西側の歩道を通って入り口に向かうようになっています。歩道の屋根などの整備は計画当初からなく、雨の際には傘をお使いいただく必要があります。施設北側に団体専用入口も設けており、今後は使用したいと考えます。

問 団体用トイレの設置場所について。

答 12月に完成した団体用トイレは、北側駐車場に止めてすぐ使用できるよう、特に女性の観光客などがバスから降りて使用できるような配置としています。

問 備蓄倉庫がありsora かさいから滑走路が一望できない。

答 備蓄倉庫南側は防災ゾーンとして防災訓練などに使えるよう広場を設け、災害時の物資集荷等の場を確保しているため、北側にsora かさいを建設しました。倉庫外観は飛行機の格納庫をイメージし、当時の雰囲気を感じられるよう景観に配慮しました。

問 sora かさいの床のひび割れや東側通路の急勾配を指摘したが、どう対処されるのか。

答 床のひび割れは大小にかかわらず発生しますが、現在

補修中です。東側通路については、建築物四隅の高さは同じで、西側道路との高さが違うために土間コンクリートで急勾配を取っています。観光客は西側を通る想定で設計しており、通行用でないことを明示して西側に誘導しています。

問 巨大防空壕の所有者は。また、シアター観覧を無料から有料へ変更した理由について。

答 巨大防空壕は神戸大学の所有ですが、施設の使用許可を頂き、無償で借り受けています。令和4年度から、民間委託により土日祝日にシアター上映などツアー型サービスを実施し、その代金を頂戴しています。ツアー代金はサービス手数料と位置づけ、地方自治法の規定による使用料ではなく、公共料金問題審議会も通す必要はないと考えます。

官製談合の業者を指名停止しなかったのは、何らかの意思が働いたのではないかな？



深田 真史 議員
(自由民主党・無所属の会)



問 他の自治体で官製談合事件を起こしたP社を加西市は指定停止基準に従って、指名停止にしないまま、道の駅の基本計画と児童館の基本構想の公募型プロポーザルに参加し、加西市と契約した。西村市長の過去の議会発言から道の駅に相当な思いがあったことがよく分かる。

- 令和3年9月…「道の駅可能性調査に12団体」
- 令和3年12月…「全国の一流どころのコンサルがしっかり手を挙げていたでいて道の駅構想を今策定している」
- 令和4年6月…「次の構想を策定するに当たっても、本当に全国でこんなと

ころが来てくれるのかというところも手を挙げてくれたわけですよ」

市長が業者のことをわざわざ述べることはしないものだ。令和4年6月の発言は、問題のプロポーザルが始まってからの発言。結局、指名停止にしなかったのは意中の業者だったのか。

答 (市長) そんなことは全くありません。道の駅という困難施設に、全国の業者が関心を寄せているとお伝えしたかっただけです。特定の業者と面会していないし、関係ありません。

問 令和2年10月西村市長は、P社が基本計画を手がけた京丹波町(京都府)の道の駅「味夢の里」をイメージしている、と自ら具体名を挙げた。また、自ら「味夢の里」を見に行ったとも発言した。そこを手がけた業者とい

う意思が働いた、市長がごり押ししたと取られても仕方ない。

答 (市長) よくそういう思考が働くなとびっくりです。全くそんな意図はありません。私は「sora かさい」だけでは加西市の活性化に弱く、道の駅をつくらなければならないと早くから言っています。荒唐無稽だ。

問 しかし、市長が見に行き、発言までしている。

答 (市長) 私的に「味夢の里」に行ったが、特定の業者にやらしてもらいたいのは他の事業についても一切ありません。



市民生活における安全安心について(防犯カメラ・ごみ袋の問題)



丸岡 弘満 議員
(自由民主党・無所属の会)



問 動く防犯カメラとしてドライブレコーダーのメリットを述べ、急ぎ全ての市公用車へ取り付けるべきと意見してきた。新車購入の際に順次搭載していくとの答弁であったが、今の状況は。

答 ご指摘から必要性を改めて認識したこともあり、令和3年度末にほぼ全ての公用車へ取付けを完了しました。

問 市民からごみターミナルや不法投棄の予防策としてカメラ設置の要望がある。不法投棄監視カメラ5台で足りるのか。台数を増やし「不法投棄をしない。

させない。」という市の覚悟と地域の姿勢を示す啓発活動として予算対応していくことが重要では。

答 ごみの分別マナーや不法投棄の抑止効果のためカメラを設置していますが、要望が増加しており、令和5年度はカメラを増やすよう予算要求しています。

問 市指定のごみ袋が取扱店の店頭にないと苦情がある。市民が安心してごみを出せないということがあってはならない。なぜごみ袋が購入できないのか。

答 新型コロナウイルス感染拡大の影響で製造元の工場がフル稼働できてないことに加え、輸入原材料が安定的に入荷しにくいことも影響しています。取扱店において若干の納入遅延が発生していましたが、大中小いずれのごみ袋もなくなることはありませんでした。

問 ごみ袋を買いに行ったらないという実態がある！なくなるということはありませんでしたという答弁は理解できない。在庫管理はできているのか。今後の対応は。

答 ごみ袋の安定供給を図るため、別の工場で平折り型ごみ袋を製造することとしたため、12月中には取扱店での納入遅延が解消されます。ごみ袋の納入遅延等の公表により買占め等の問題が生じ、新たな納入遅延が起こる可能性を避けるため、12月の公表となりました。

■その他の質問項目

- ・加西市北部エリアに見る地域課題の解決について
- ・文化・観光の振興と地域スポーツの未来について
- ・なり手不足問題について

市議会トピックス

● 傍聴のご案内

議会の傍聴は、本会議と委員会どちらも傍聴していただくことができます。傍聴される場合は、開催当日に、議会棟 2 階の議会事務局で傍聴人受付簿に住所氏名を記入の上、本会議場傍聴席または 3 階の委員会室にて傍聴してください。

なお、新型コロナウイルス感染症予防のため、マスクの着用や消毒液による手指消毒、検温の実施にご協力をお願いします。

● 閉会中の委員会開催日程

月 日	時 間	会 議
2月6日(月)	10:00	建設経済厚生常任委員会

● 令和 5 年 3 月 加西市議会定例会の予定

月 日	時 間	会 議
2月24日(金)	9:20	議会運営委員会
	9:40	議員協議会
	10:00	本会議 (提案説明等)
2月28日(火)	15:00	発言通告期限 (質疑・一般質問)
3月6日(月)	9:20	議会運営委員会
	9:40	議員協議会
	10:00	本会議 (質疑・一般質問)
3月7日(火)	9:20	議会運営委員会
	9:40	議員協議会
	10:00	本会議 (一般質問)
	本会議終了後	予算決算常任委員会 (全体会)
3月8日(水)	10:00	本会議 (予備日)
3月9日(木)	9:00	総務常任委員会
	委員会終了後	予算決算常任委員会総務分科会
3月10日(金)	9:00	建設経済厚生常任委員会
	委員会終了後	予算決算常任委員会建設経済厚生分科会
3月13日(月)	9:00	建設経済厚生常任委員会
	委員会終了後	予算決算常任委員会建設経済厚生分科会
3月14日(火)	13:30	予算決算常任委員会総務分科会 (予備日)
3月22日(水)	9:00	予算決算常任委員会 (全体会)
3月24日(金)	9:20	議会運営委員会
	9:40	議員協議会
	10:00	本会議 (委員長報告・討論・採決)

● 請願・陳情について

請願書・陳情書はいつでも提出できますが、受付日によって審査が次の定例会になることがあります。

3月定例会での取り扱いを希望される場合は、令和 5 年 2 月 16 日(木) 17 時までにご提出ください。

加西市議会ホームページのご案内

議会の日程や議案の審議結果などを掲載しています。

また、これまでに発行された議会だよりや本会議、委員会の映像、会議録も見るすることができます。

ぜひ、ご活用ください。

スマートフォンでご覧いただく場合は、下記 QR コードをご利用ください。



議会中継
(ライブ・録画) は
加西市議会HPへ



発行 加西市議会
編集 議会だより編集委員会

〒675-2395 加西市北条町横尾 1000
[TEL] 0790-42-8790 [FAX] 0790-43-1810
[email] gikai@city.kasai.lg.jp

議会だより編集委員会

委員長 北川 克 則
委員 井上 芳 弘
委員 深田 真 史

副委員長 佐伯 欣 子
委員 深田 照 明
委員 森 元 清 蔵